

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 悪性リンパ腫への同種造血幹細胞移植におけるFludarabine-Melphalanレジメン、Fludarabine-Busulfanレジメンの安全性・有効性に関する後方視的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 血液内科 助教 後藤 秀樹

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院 血液内科 教授 豊嶋 崇徳

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道大学病院 血液内科 後藤 秀樹

札幌北楡病院 血液内科 岡田 耕平

[研究の目的]

北海道大学病院血液内科は、治療に難渋する悪性リンパ腫に対して、多くの患者さんに同種造血幹細胞移植（以下、同種移植）による治療を提供してきました。同種移植は年々進歩していますが、治療内容の違いによる安全性や予後についてきちんと検証された報告は限られています。同種移植の安全性及び有効性を検証することで、将来的の医療の進歩に貢献できる可能性があります。そこで、北海道大学病院血液内科では、悪性リンパ腫への同種移植における治療内容別の安全性と有効性を検証するために本研究を立ち上げました。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

悪性リンパ腫の患者さんで、2003年3月1日以降、2020年3月31日までに同種造血幹細胞移植の治療を受けている方

○利用するカルテ情報

年齢、性別、病歴、診断名、過去の治療歴、検査結果（血液検査、画像検査、骨髄検査、病理組織検査）、有害事象の程度（感染症や移植片対宿主病などを含む）、自家

末梢血幹細胞移植歴、移植の種類（末梢血、骨髄、臍帯血）、移植治療に用いた薬剤、ドナーの種類（血縁、非血縁）、移植後の有害事象、予後

[研究実施期間]

実施許可日～2022年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院血液内科 担当医師 後藤 秀樹

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7823